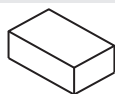


11. セットタンク

使用部材

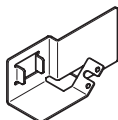


詰め合わせ箱

付属材セット (キャビネット)

取付材セット

※図はスリム収納タイプの場合



取付材 (洗浄レバー)
(1個)



トラス小ねじ
5×8 (1本)



洗浄レバー
(1個)

【手洗器ありの場合】 取付材セット



棚ダボ
(1本)

給水ホースセット



(1本)

ホースクランプセット ※水抜方式の場合



ホースクランプ
(1個)



トラスタッピンねじ
4×40 (1本)

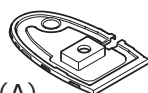


コアキャビネット

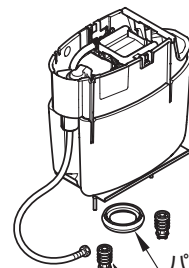
セットタンク

ピン (1個)

※ピンはジョイント端
に付いています。



カバー(A)
(1個)

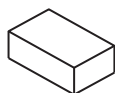


カバー(B)
(1個)



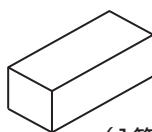
パッキン
固定ナット

(1個)



その他包装

便器洗浄ユニット



(1箱)

MEMO

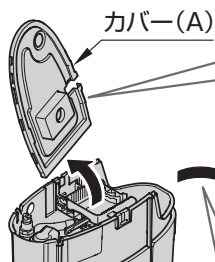
1 セットタンクの取り付け

⚠ 注意

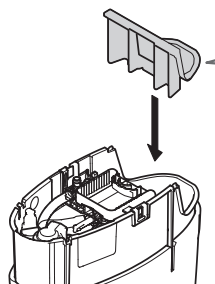


必ず守る

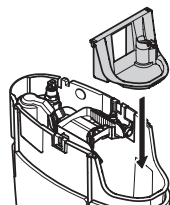
カバー(B)がしっかり閉まっていることを確認する
カバー(B)が閉まっていないと、セットタンク内の水が跳ねて
家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



① カバー(A)・カバー(B)
を取り出す



② カバー(B)の取り付け



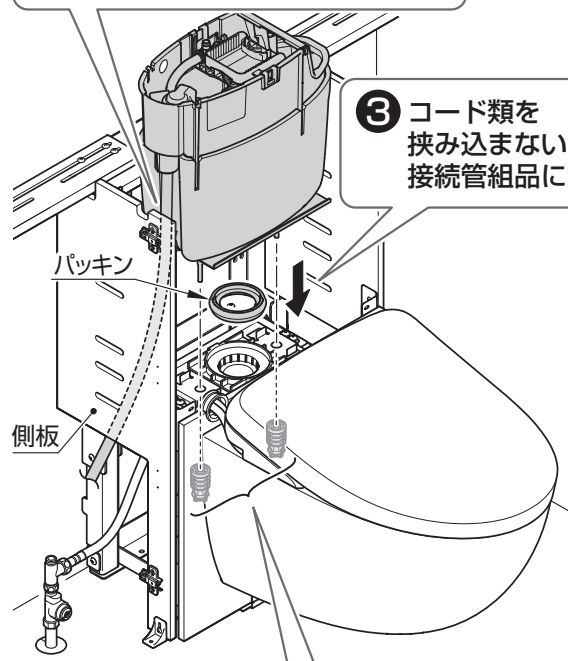
⚠ 注意



必ず守る

セットタンクにパッキンがセットされている
ことを確認する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生
の原因となります。

④ スタンドと側板のすき間を通す



③ コード類を
挟み込まないように、
接続管組品に載せる

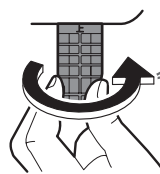
⚠ 注意



必ず守る

左右の固定ナットを確実に締める
水漏れして家財などをぬらす財産損害
発生の原因となります。

固定ナットは交互に締め付ける
セットタンクが傾いて取り付け、水漏れして家財
などをぬらす財産損害発生の原因となります。

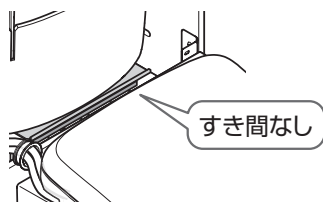


⑤ 手締めでかたく締め付ける
破損防止

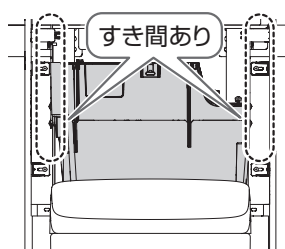
6 すき間を確認する

※セットタンクがコアキャビネット組品に干渉している場合は、セットタンクを外して、接続管組品が傾いていないか、確認してください。

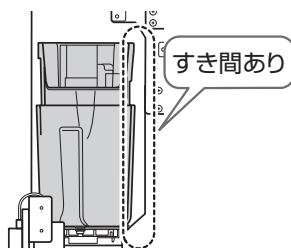
□接続管組品とセットタンク下部の板金(黒)との間



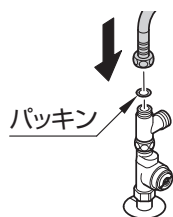
□セットタンクと側板の間



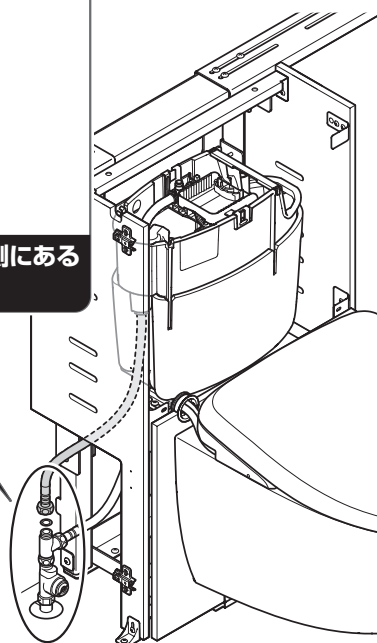
□セットタンクと後壁の間



7 取り付け



水抜方式の止水栓が右側にある場合は右図を参照



水抜方式

止水栓が右側にある場合

ホースがたるまないよう
後壁に固定する

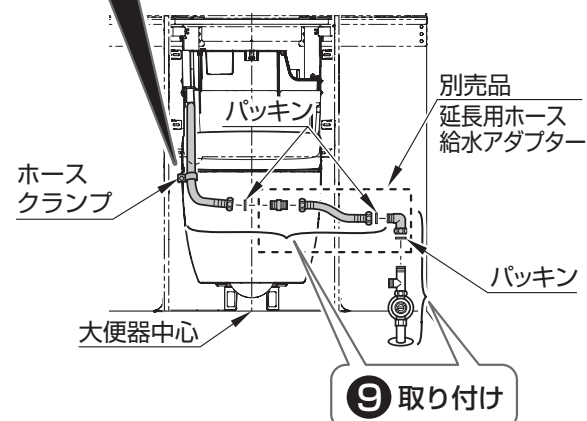
7 【壁裏補強ありの場合】

けがき → 下穴



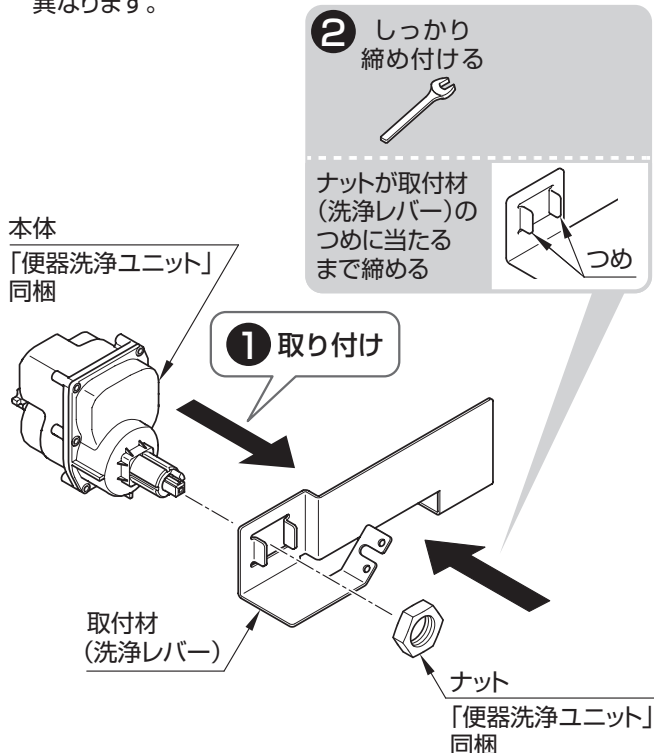
8 トラストッピンねじ 4×40(1本)

逆勾配防止

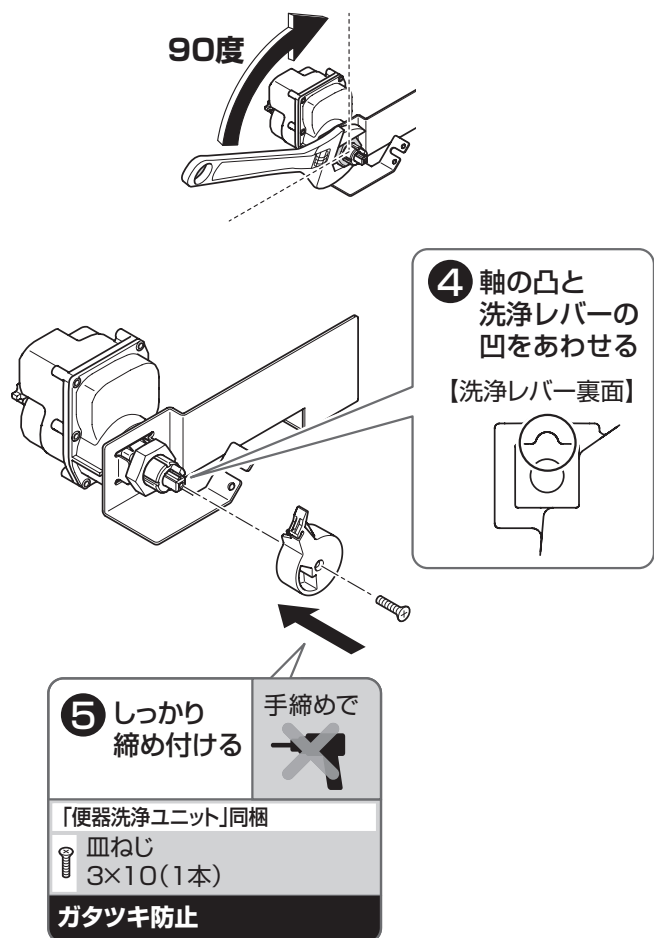


2 洗浄レバーの組み立て

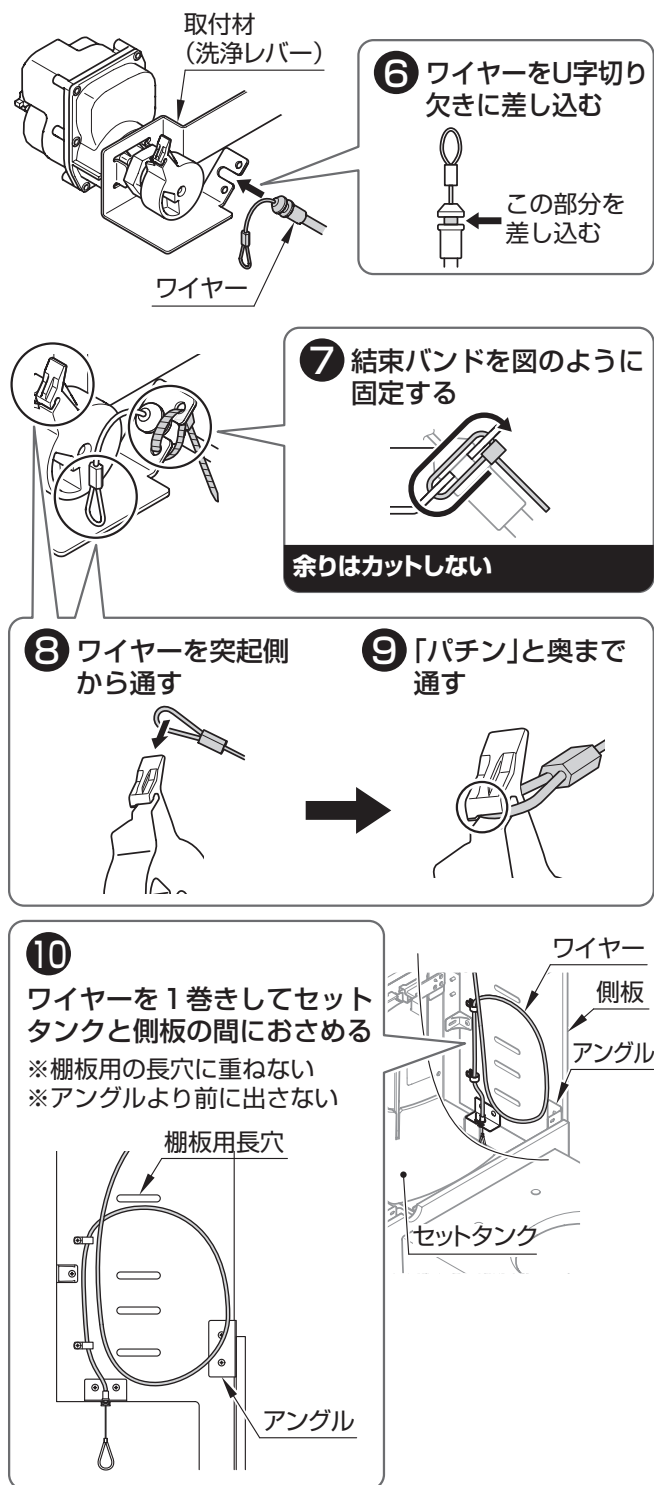
※便器洗浄ユニットに同梱の説明書とは、取付向きが異なります。



3 モンキーレンチでナットを90度増し締めする

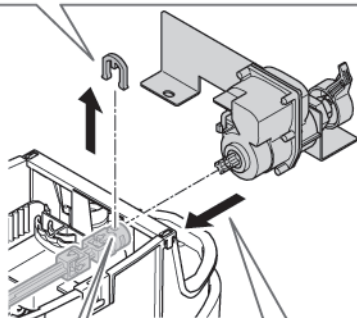


手洗器あり 手洗器なしの場合は **3** へ

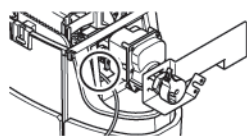


3 洗浄レバーの固定

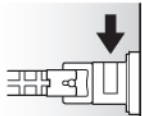
① ジョイントからピンを取り外す



② 本体コードを手前に出し、ジョイントを差し込む

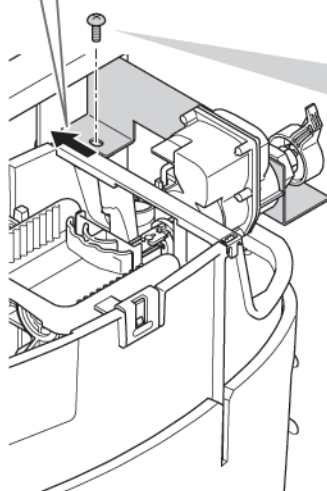


③ カチッと音がするまでピンを差し込む ピン固定位置



④ ジョイントが抜けないことを確認する

⑤ 本体コードを挟み込まないよう、スタンドの柱に押し当てる



⑥ 手締めで



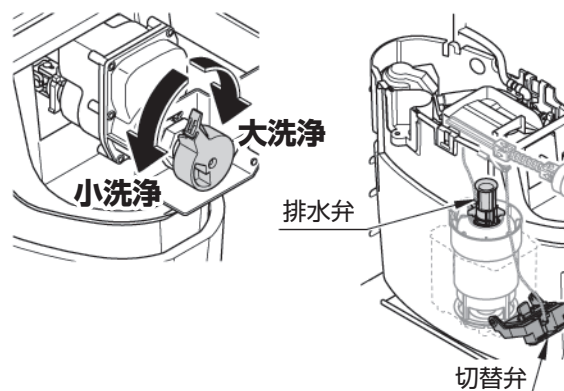
トラス小ねじ
5×8(1本)

「付属材セット
(キャビネット)」
同梱

4 洗浄レバーの作動確認

① 作動確認

- ☐ 洗浄レバーが「大」側、「小」側へ正常に作動すること
- ☐ 「大」側に回し、排水弁のみが引き上がること
- ☐ 「小」側に回し、排水弁・切替弁が引き上がること
- ☐ 洗浄後、洗浄レバーが正規の位置に戻ることに



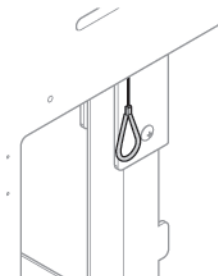
手洗器あり

ワイヤー

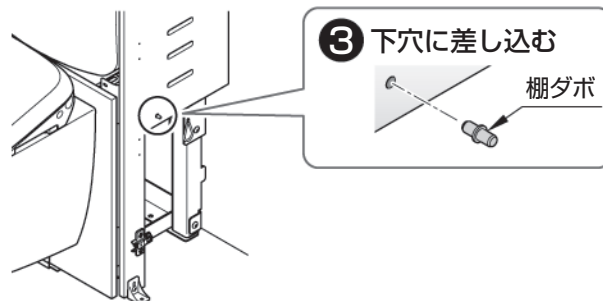
② 作動確認

コアキャビネット内のワイヤーを操作する
その際の洗浄レバーの動きも確認する

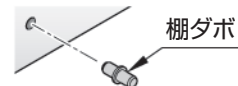
- ☐ レバーが動くこと
- ☐ スムーズに動作すること



水抜方式の場合



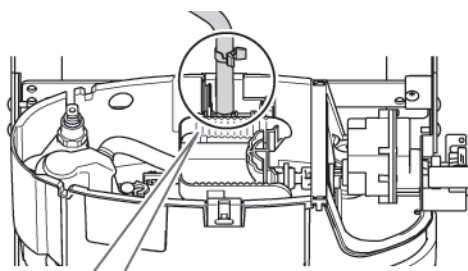
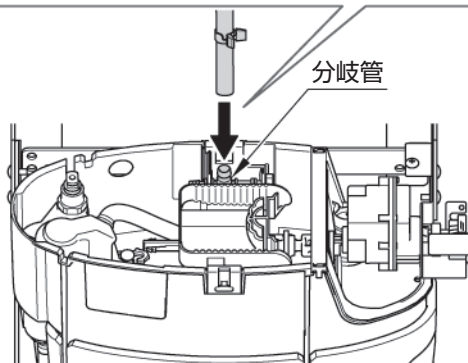
③ 下穴に差し込む



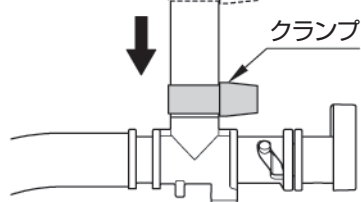
5 給水ホースの固定

手洗器あり

① 給水ホースを差し込んで手洗器方向に向ける



② クランプをつまんで移動し、分岐管とホースを締め付ける



ホースの先端が突き当たるまで差し込むこと

手洗器あり / 手洗器なし 共通

⚠ 注意

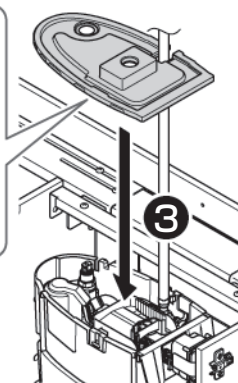
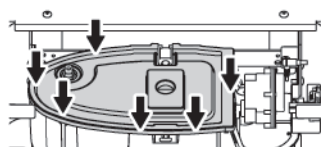


必ず守る

カバー(A)がしっかり閉まっていることを確認する

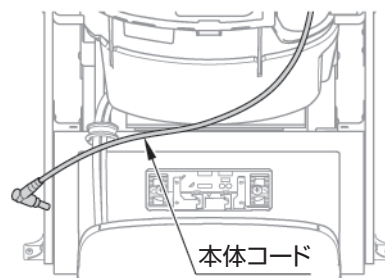
カバー(A)が閉まっていなくて、セットタンク内の水が跳ねて家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

④ 浮き上がっていないことを確認する



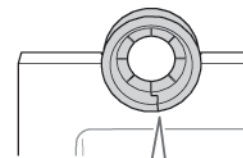
6 便器洗浄ユニットの取り付け

① 作業がしやすいようにウォシュレットを手前に引き出す



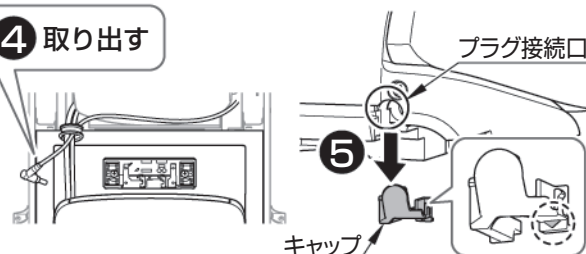
給水ホース 電源コード 本体コード

② キャップに挿入する



③ 開口部を下に向ける

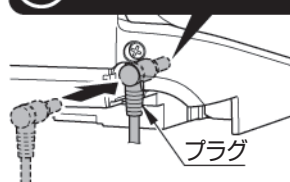
④ 取り出す



⑤

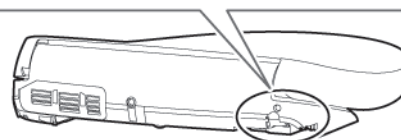
キャップ

⑥ 根元まで確実に差し込む



⑦

キャップ

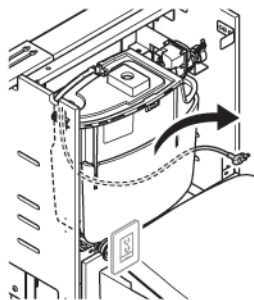


⑧ 引き出したウォシュレットを取り付ける

水抜方式

電源コードの取り回し

タンク用ヒーターの電源コードをコンセント側に
取り回しておく



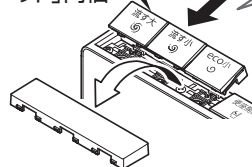
7 リモコンの設定・作動確認

① 電源プラグの差し込み

※ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認すること

流すボタン

「便器洗浄
ユニット」同梱



② 流すボタンの取り付け

参照 流すボタン取付説明書

リモコンには流すボタンが取り
付いていません。必ず取り付け
てください。

③ ウォシュレット本体の電源プラグを差し込んだことを 確認し、モード設定をする

モード設定はウォシュレット本体を取り付け、電源を入れたあ
とに行ってください。

※ウォシュレット本体の電源が入ってないと設定を受け付けません。

ビデ/ワイド 水勢

④ [人] と [−] を同時に10秒以上押す

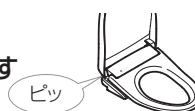
リモコンランプが点灯・点滅します。

確認



おしり/ソフト

⑤ [おしり] → [−] → [+] の順に押す



ビデ/ワイド 水勢

⑥ [人] と [+] を同時に10秒以上押す

リモコンランプが点灯・点滅します。

確認



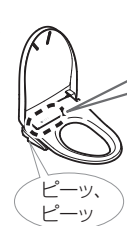
おしり/ソフト 水勢 おしり/ソフト

⑦ [おしり] → [−] → [おしり] の順に押す

電子音が鳴ると同時に本体
表示部(便座)ランプが2回
点滅することを確認する

電子音とランプの点滅が下記で
なかった場合は、設定が正しく
できていません。

手順③に戻り設定しなおしてく
ださい。



本体表示部



<便座>
2回点滅

⑧ 作動確認

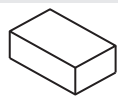
※連続して流すボタンを押しても作動しません。約10秒
たってから、もう一度ボタンを押してください。



※正しく作動しない場合は、再度手順③から設定してください

12. 前板 (上)

使用部材



大便器スタンド

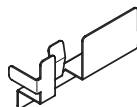
【やわらかフロアライトありの場合】

付属材セット(照明)



センサー
(1個)

取付材セット(センサー)



取付材(センサー)
(1個)



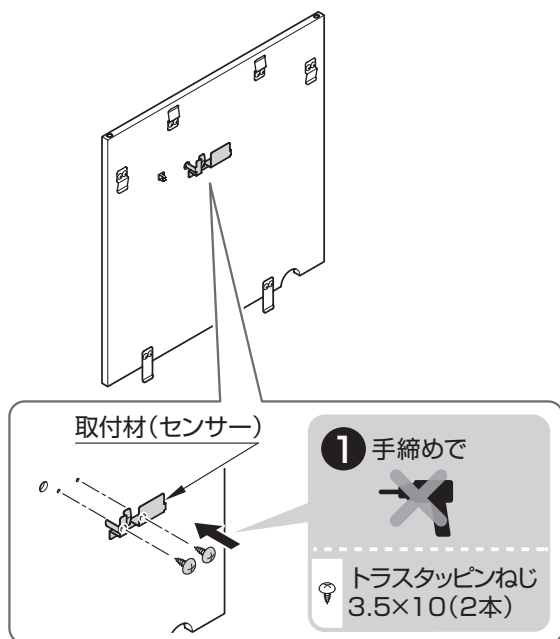
トラスタッピンねじ
3.5×10(2本)

MEMO

1

前板組品の組み立て

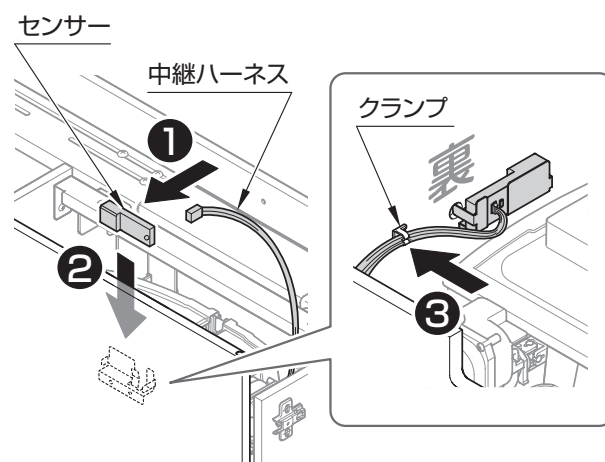
やわらかフロアライトなし
の場合は **2** へ



3

センサーの取り付け

やわらかフロアライトなし
の場合は13.棚板 へ



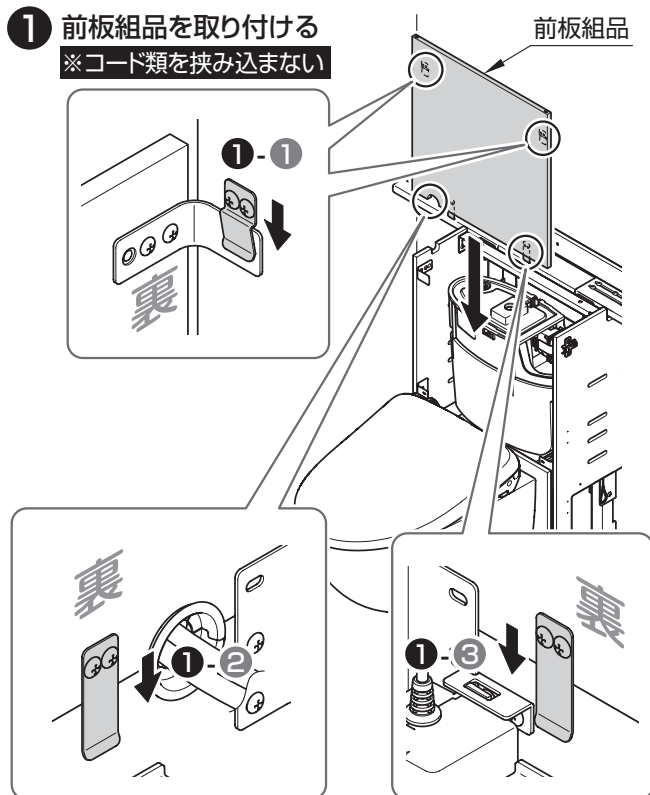
2

前板組品の取り付け

1

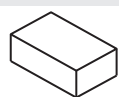
前板組品を取り付ける

※コード類を挟み込まない



13. 棚板

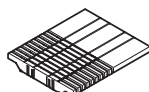
使用部材



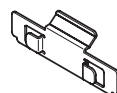
コアキャビネット

コアキャビネット

棚板セット



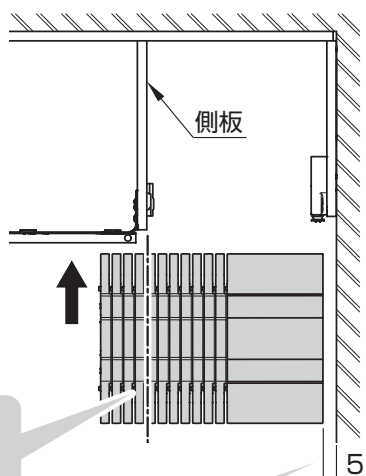
棚板
(4枚)



支持材
(4個)

1 棚板のカット

【上面図】

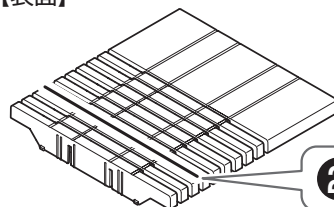


1 けがき



壁から5mm程度すき間を空けて側板端から一番近い溝をけがく

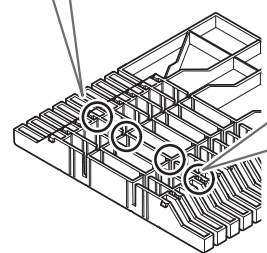
【表面】



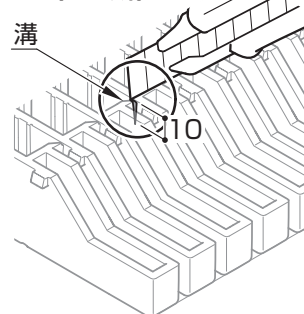
② カッターで2回程なぞる

【裏面】

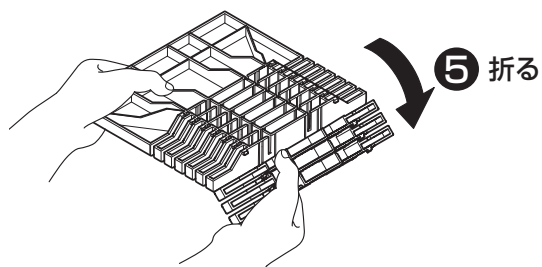
③ けがいた位置を確認(4カ所)



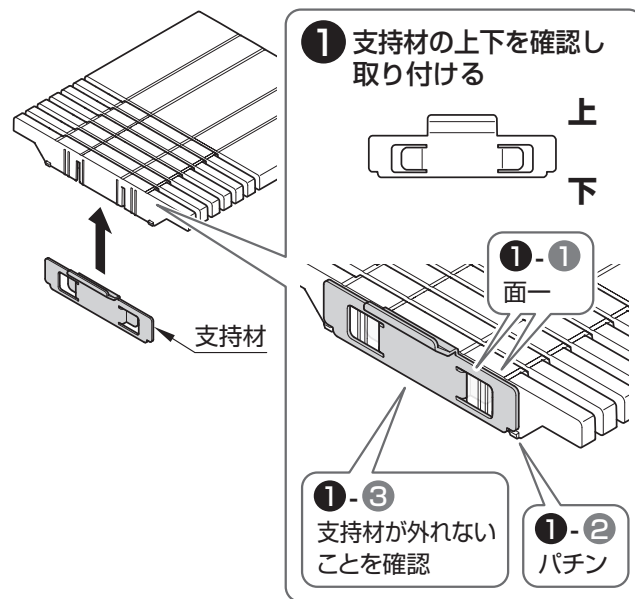
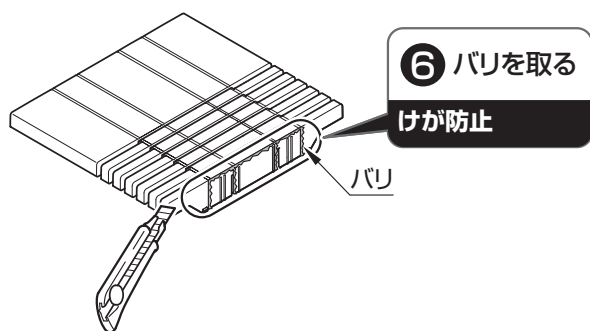
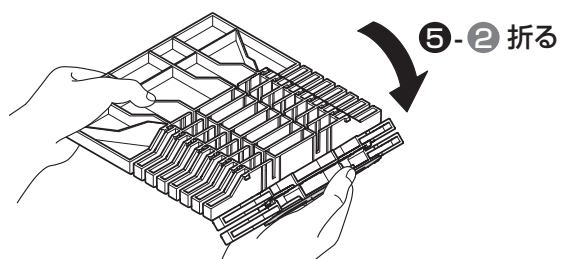
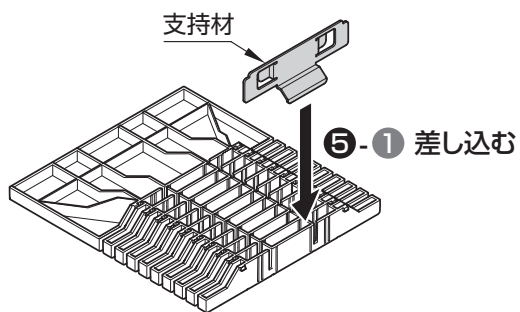
④ リブの溝にあわせて切り込みを入れる(4カ所)



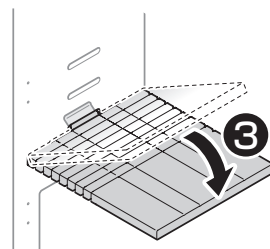
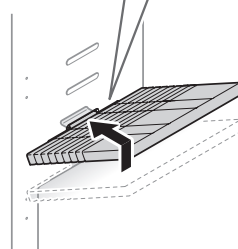
2 棚板の取り付け



【棚板のカット寸法が小さく折りづらい場合】

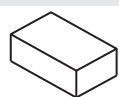


2 棚板の取り付け



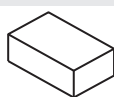
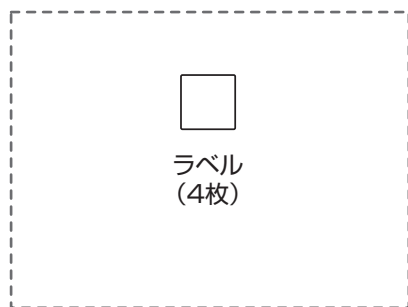
14. 扉

使用部材



詰め合わせ箱

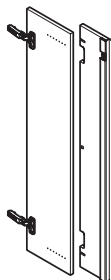
施工説明書



コアキャビネット

扉セット (左)

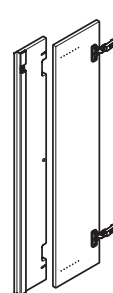
扉組品
(1セット)



トラス
タッピンねじ
4×20(3本)※1

扉セット (右)

扉組品
(1セット)

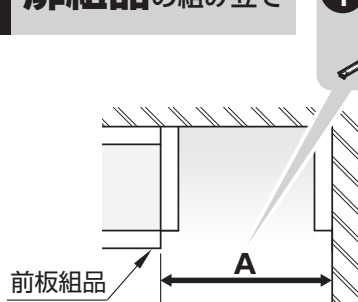


トラス
タッピンねじ
4×20(3本)※1

※対応間口によって裏扉の仕様(切り欠きの有無)は異なります。
※1 残り1本は18.仕上げで使用

1 扉組品の組み立て

① 測定



② 手締めで

トラスタッピンねじ
4×20(2本)

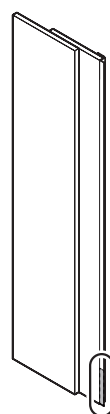
本固定用
(ここでは使用しない)
▶「18.仕上げ」

※図は扉セット (右) の場合

幅木がある場合

③ カット

扉は開閉のため、床仕上げ面から浮いているので切りすぎないように注意すること



③-①

扉装着を想定して
幅木にあわせてカット

カット部

床仕上げ面

③-②

扉下端と床仕上げ面の
すき間(目安)

扉目地材

2

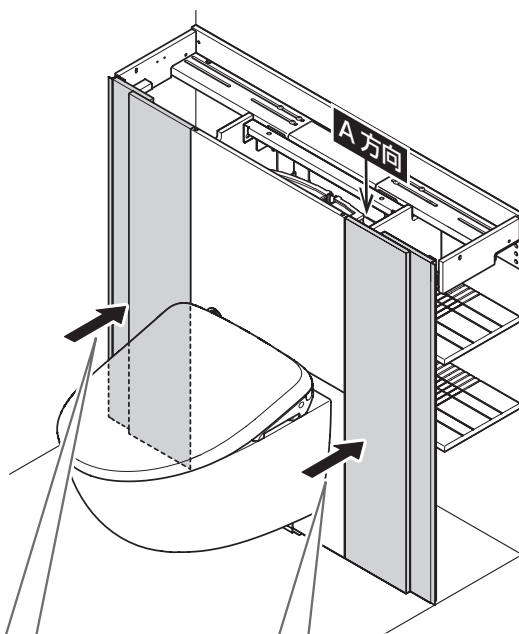
扉組品

2

2

幅木

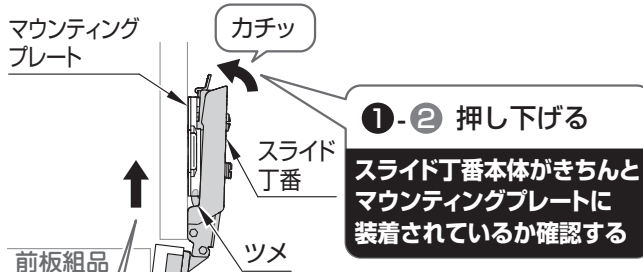
2 扉組品の取り付け



① コアキャビネットのスライド丁番に取り付け

取り付けかた

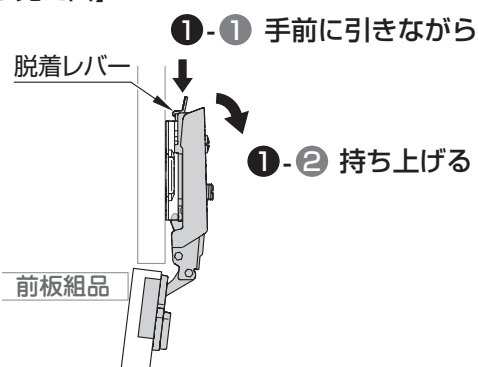
【A方向から見た図】



①-① マウンティングプレート先端にツメを引っ掛ける

取り外しかた

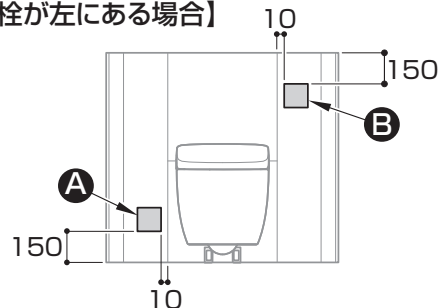
【A方向から見た図】



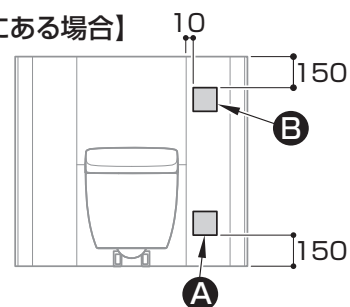
② ラベルをはり付ける

A	止水栓ラベル
B	便器洗浄ラベル 手洗器なしの場合：GH04274* 手洗器ありの場合：GH04275*
C	4VOCラベル

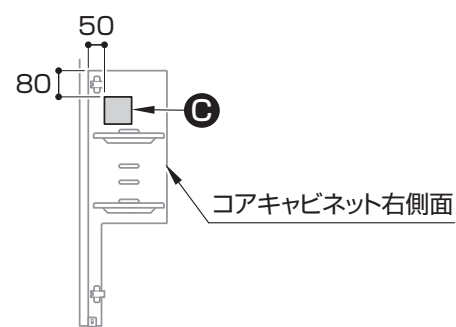
【止水栓が左にある場合】



【止水栓が右にある場合】



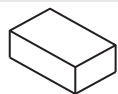
【右側面】



はり付け位置(参考)

15. 試運転・確認

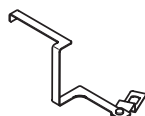
使用部材



コアキャビネット

セットタンク

【流動方式の場合】



流動レバー
(1個)



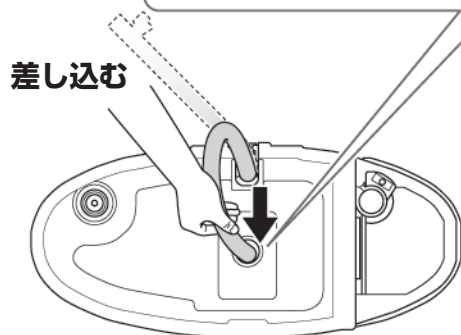
レバー止め
(1個)

MEMO

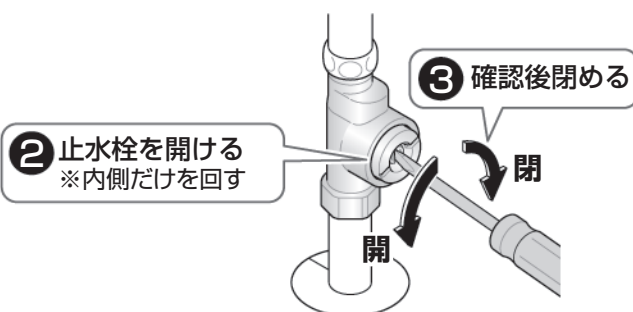
1 試運転の前準備

手洗器あり

- ① 給水ホースセットをセットタンクに差し込む**
※試運転時の給水をセットタンク内に流入させるためです。
手洗器取付時に水栓金具に接続します。



手洗器あり/手洗器なし 共通



2 ウォシュレットの吐水確認

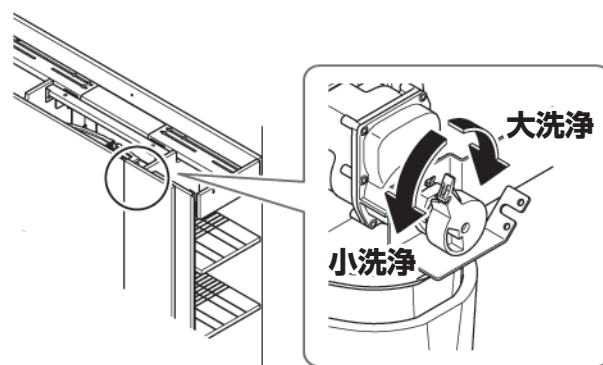
① ウォシュレットを試運転し、吐水確認を行う

参照 ウォシュレットの施工説明書

※試運転の前および試運転完了時は、必ず電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。
(ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプが点灯します。)

3 便器洗浄の確認

洗浄レバー

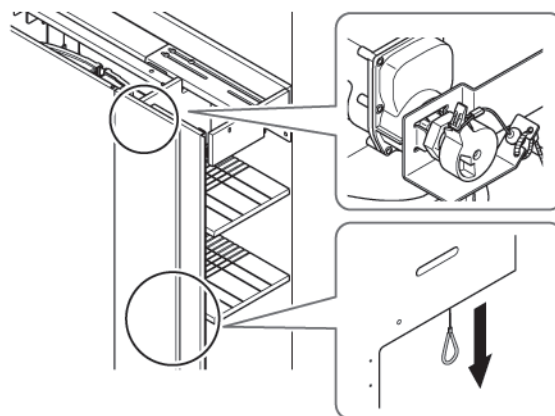


① 作動確認

- コアキャビネット内の洗浄レバーを操作する
- ☐ 大・小洗浄とも正常に行われるか
 - ☐ スムーズに回転するか

手洗器あり

ワイヤー



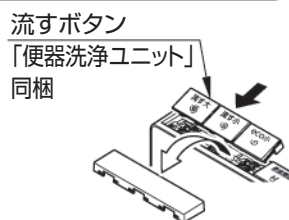
② 作動確認

- コアキャビネット内のワイヤーを操作し、洗浄レバーの動きを確認する
- ☐ 洗浄が正常に行われるか
 - ☐ スムーズに回転するか

リモコン

① 流すボタンが取り付けられているか確認する

参照 流すボタン取付説明書

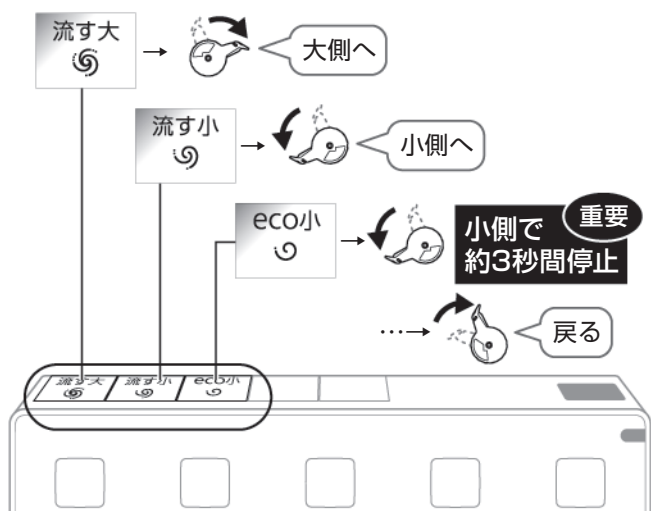


② 作動確認

□「大」・「小」・「eco小」のボタンを押して、それぞれの洗浄が正常に行われるか

※連続して押すと作動しません。

約10秒たってから、もう一度ボタンを押してください。



※機種によってデザインなどが異なります。

③ 試運転完了後、「運転入/切」が、「入」になっていることを確認する（「運転ランプ」点灯）

「切」のときは、電源プラグをコンセントに差し込んで、ウォシュレットは作動しません。

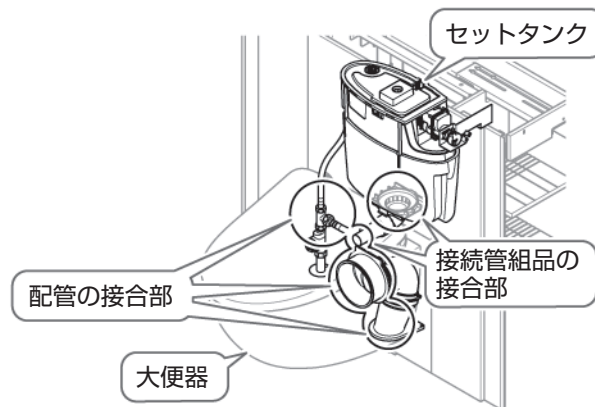
※お客様に引き渡すまでに時間があっても「運転入/切」を切らないでください。

4 大便器・配管類の水漏れ確認

① 作動確認

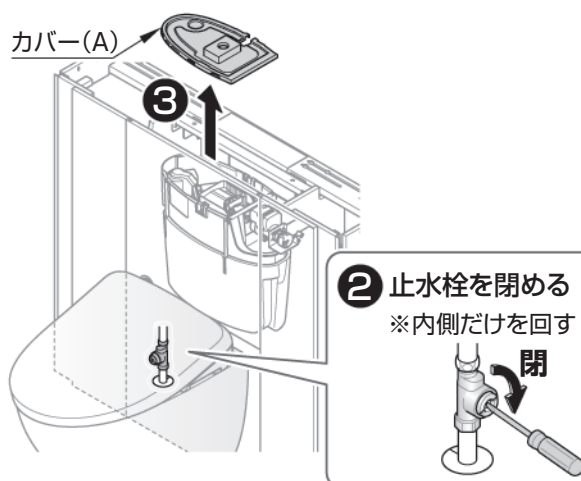
2～3度洗浄させて、水漏れなどがいないことを確認する

- 給水ホースの接続箇所は正しいか
- 配管接合部からの水漏れがないか
- 大便器・セットタンクからの水漏れがないか



大便器に水が流れ続ける場合の対応方法

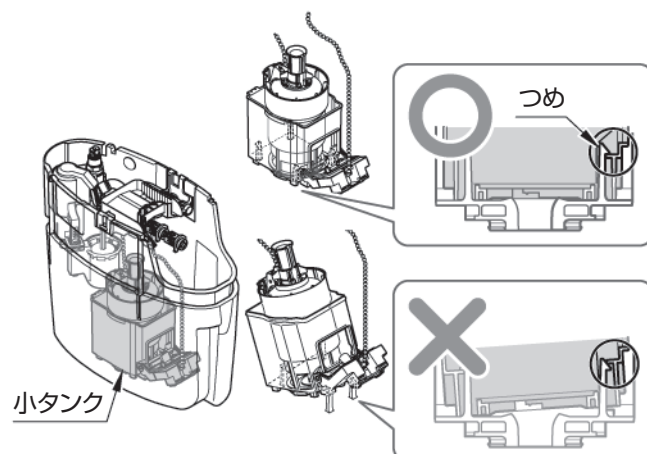
※セットタンクに強い力や衝撃を与えると、つめが小タンクから外れて水が流れ続ける場合があります。



④ 小タンクを上から押さえはめ直す

※四隅をつめ 4カ所に「カチッ」と音がするまで確実ににはめ込む

止水不良防止



5 水位の確認

必ず実施してください

正常な状態

設定変更不要です。



設定を行うと、洗浄不良になる場合があります。

水たまり面が低い

設定変更してください。

▶同ページ 右
「水たまり面が低い場合の
対応方法」



汚物付着の原因になります。
〈水たまり面 低下の理由〉
・排水管に曲がりが多い
・通気が不十分

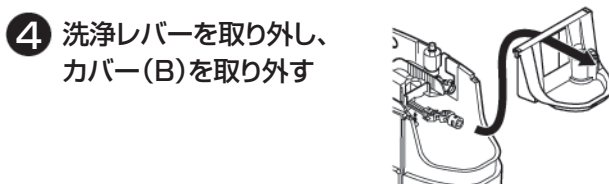
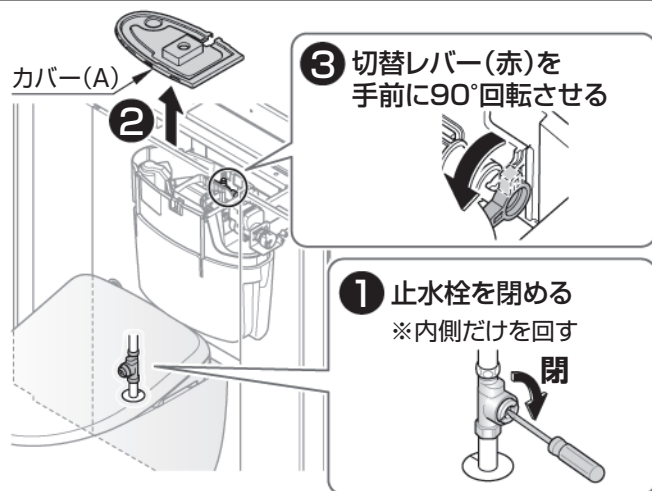
※水たまり面の判断に迷ったとき
ペットボトルやバケツなどで徐々に水を足し、水たまり面が
上昇しない場合は正常です。

タンク内を調整する際のご注意

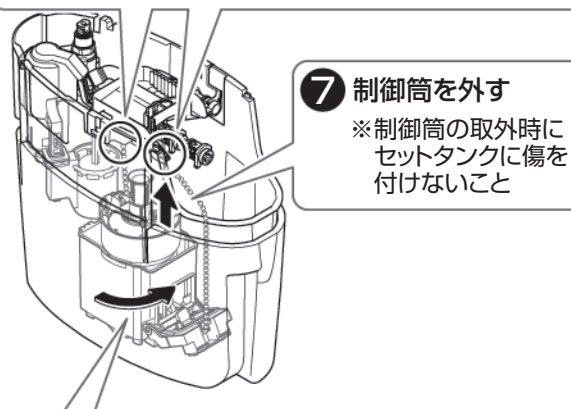
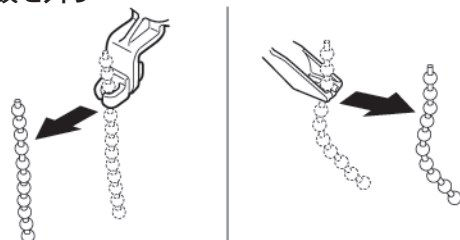
漏水防止カバーを
外さない

小タンクに力を加えない
排水弁が浮いて、水が流れっぱなし
になるおそれがあります。

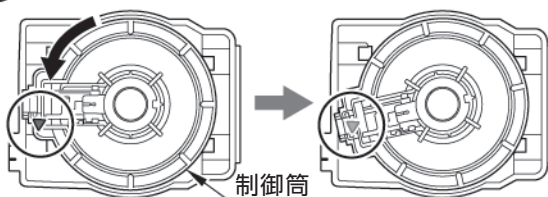
水たまり面が低い場合の対応方法

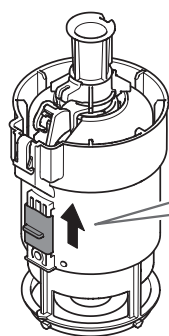


5 玉鎖を外す



6 制御筒を反時計回りに回し▲をあわせる

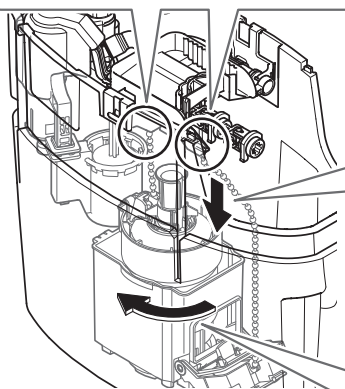
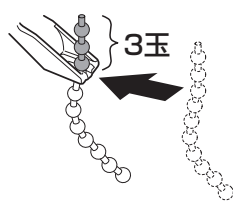
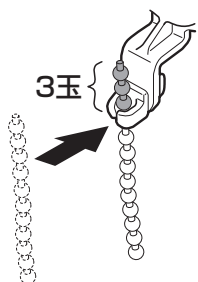




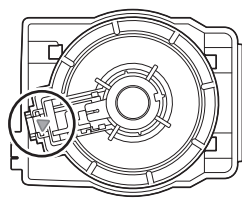
⑧ 切替弁(赤)を上げる

⑪ 玉鎖を取り付ける

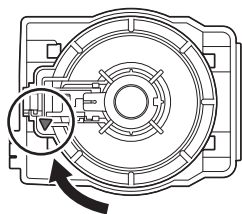
※正しく取り付けないと止水不良になります。



⑨ ▲をあわせて
取り付ける



⑩ 制御筒を時計回りに回す



⑫ カバー(B)と洗浄レバーを取り付け、
カバー(A)を元に戻す



⑬ 完了後の確認

- ☐ 止水栓を開け、2～3度洗浄させて、水漏れなどがないか
- ☐ 正常に洗浄するか
- ☐ 洗浄後、水たまり面の低下がないか

自治体によって洗浄水量の規制がある場合

【変更前】

大洗浄	4.8L
小洗浄	3.6L
eco小洗浄	3.4L

大洗浄	6L
小洗浄	4.8L
eco小洗浄	4.6L

変更
できます。

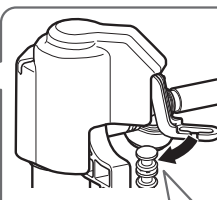
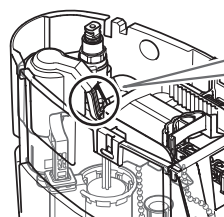
大洗浄	8L
小洗浄	7.5L
eco小洗浄	7L

大洗浄6L、小洗浄4.8L、eco小洗浄4.6L仕様への切替方法

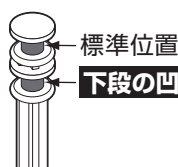
①～③

▶P.70 水たまり面が低い場合の対応方法 の

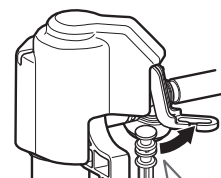
①～③を実施



④ 浮玉を外す

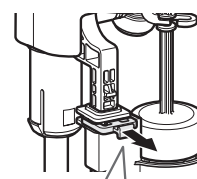
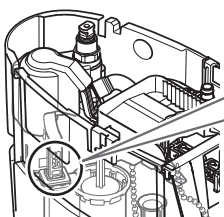


標準位置
下段の凹部

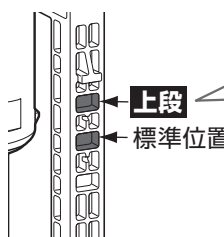


⑤ 下段の凹部を取り付ける

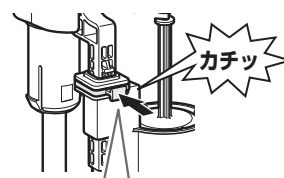
※位置を間違えると給水しない、もしくは給水が止まらないことがあります。



⑥ フックを解除する



上段
標準位置



⑦ 上段にフックを差し込む

※位置を間違えると給水しない、もしくは給水が止まらないことがあります。

⑧ カバー(A)を元に戻す



⑨ 完了後の確認

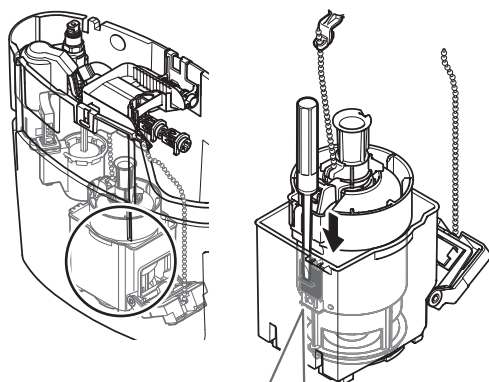
- ☐ 止水栓を開け、2～3度洗浄させて、水漏れなどがないか
- ☐ 正常に洗浄するか
- ☐ 洗浄後、水たまり面の低下がないか

大洗浄8L、小洗浄7.5L、eco小洗浄7L仕様への切替方法

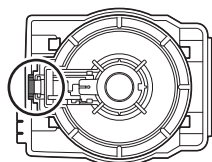
①～⑦

▶P.71 大洗浄6L、小洗浄4.8L、eco小洗浄4.6L仕様への切替方法の

①～⑦を実施



⑧ 先の長いマイナスドライバーを差し込み、切替弁を下げる

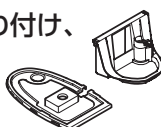


切替弁を下げられなかった場合

▶P.70 水たまり面が低い場合の対応方法の

①～③を実施

⑨ カバー(B)と洗浄レバーを取り付け、カバー(A)を元に戻す



⑩ 完了後の確認

- ☐ 止水栓を開け、2～3度洗浄させて、水漏れなどがないか
- ☐ 正常に洗浄するか
- ☐ 洗浄後、水たまり面の低下がないか

6 やわらかライトの設定

※ウォシュレット アプリコットのやわらかライトは入/切を選択できます。

① 止 と 水勢 +



リモコンランプが点灯・点滅するまで押す(約10秒)



② おしり/ソフト



押す

③ ビデ/ワイド



押す

④ 設定したい項目を選んでボタンを押す

【「使う」とき】

【「使わない」とき】

水勢



水勢



ピッ

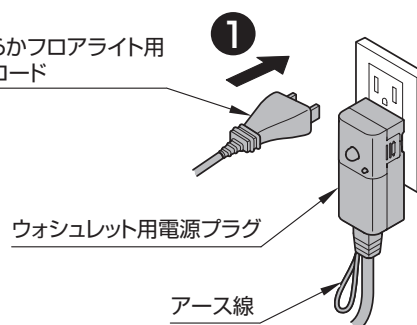
ピーッ

※ボタンのデザインは仕様により異なります。

7 やわらかフロアライトの作動確認

やわらかフロアライトなしの場合は⑧へ

やわらかフロアライト用電源コード



② 作動確認

大便器に近づいて行くことで、照明が点灯することを確認してください。(確認は、トイレの外に出てトイレのドアを閉め、100秒以上経過したあとに実施)

【点灯しないとき】

コンセントを抜いて部材の接続を再度確認してください。

・照明(LED)の取り付け▶P.46

・センサーの取り付け▶P.62

8 電源プラグの差し込み

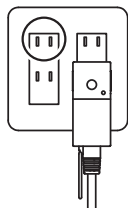
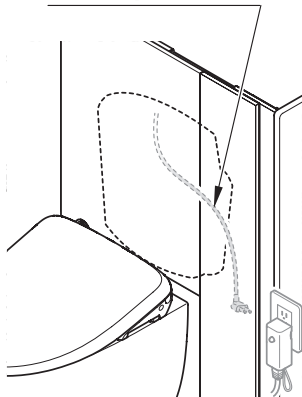


一般地の場合は **10** へ、
寒冷地流動方式の
場合は **9** へ

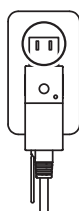
1 コンセントを差し込む

やわらかフロアライトありの場合

ヒーター付
タンク用電源コード



やわらかフロアライトなしの場合



9 流動レバーの 動作確認

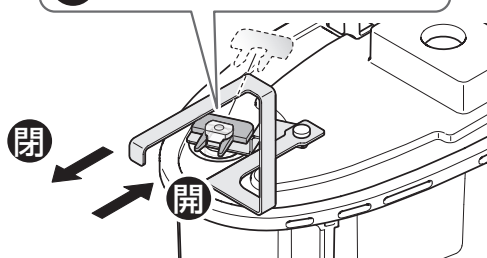


一般地/寒冷地水抜方式
の場合は **10** へ



1 上からピンに差し込む

2 レバー止めでピンを挟み込む



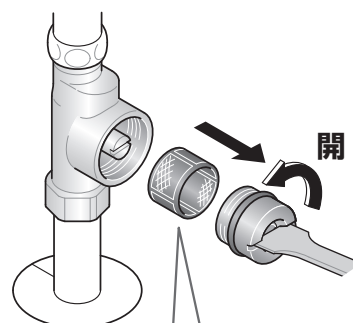
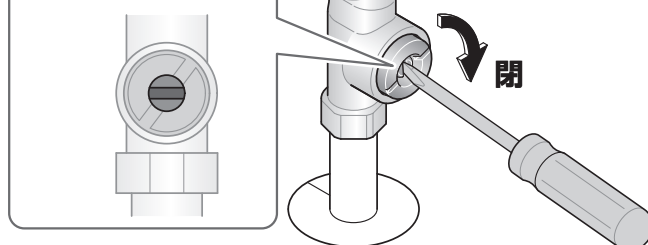
3 動作確認

- ☐ 流動レバーを手前に回し、水が流れることを確認する。
- ☐ 動作確認後、流動レバーを奥壁側に回し、閉まることを確認する。
- ☐ 確認後、止水栓を閉める。

10 給水フィルターの清掃

必ず実施してください

1 止水栓を閉める ※内側だけを回す



2 ふたを開け、 給水フィルターを取り外す ※外側だけを回す

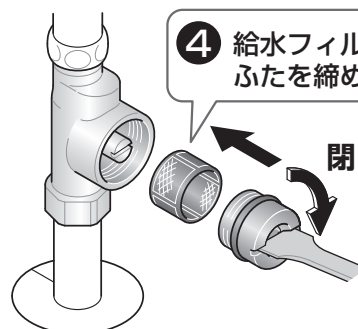


※止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。

3 給水フィルターの清掃



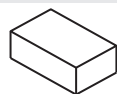
4 給水フィルターを取り付け、 ふたを締め付ける



16. 天板（手洗器あり）

手洗器なしの場合は
P.80「17. 天板（手洗器なし）」へ

使用部材



詰め合わせ箱

付属材セット（手洗器） ※手洗器ありの場合

取付材セット



取付材
(1個)



トラス
タッピンねじ
4×10(2本)

スパウト



(1個)

付属材セット

排水ソケット組品



排水ソケット
(1個)



パッキン
(排水口)
(1個)

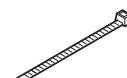
付属材セット



ケーブルクリップ
(1個)

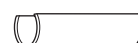


クイックファスナー
(1個)



結束バンド
(1個)

接続管組品



排水管カバー※
(1個)
※流動方式の場合のみ



接続管組品
(1個)



クッション材
(3個)

付属材セット

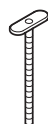


スパウト
固定用ナット
(1個)



パッキン
(スパウト用)
(1個)

取付材セット(手洗器)



Tボルト
M4×70(2個)



ちょうナット4
(2個)

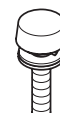


平座金
M6(2個)



ナット4
(2個)

ねじセット(排水ソケット)



ボルト
M4×20(2個)



ワッシャー
(2個)

給水ホースセット

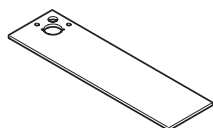


(1セット)



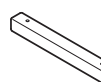
コアキャビネット

天板セット



天板
(1枚)

支持材セット



支持材
(1個)



トラスタッピンねじ
4×8(2本)

キャップセット



キャップ
(1個)

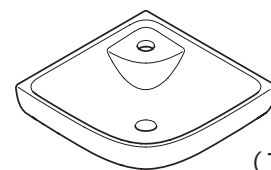


トラスタッピンねじ
4×8(2本)



その他包装

手洗器

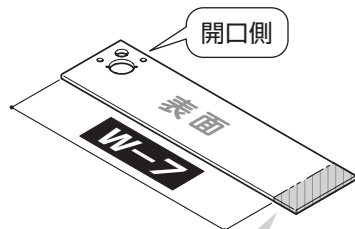


(1台)

1 天板の加工

- 1 測定 W寸法**
※奥・手前側の狭い方を基準にする

【上面図】



- 2 けがき → カット** **チッピングに注意すること**



のこぎりの場合は
表面からカット

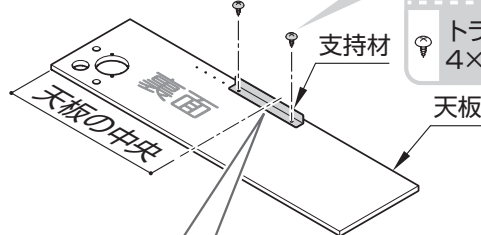


丸のこの場合は
裏面からカット

- 4 手締めで**



トラスタッピンねじ
4×8 (2本)



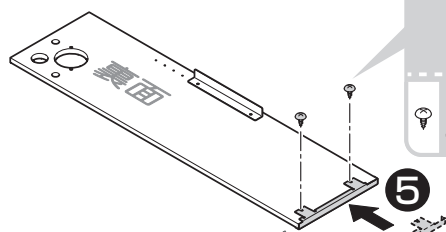
- 3 中心をあわせ
近い位置の下穴にあわせる**



- 6 手締めで**



トラスタッピンねじ
4×8 (2本)



カットした側

- 5**

天板キャップ

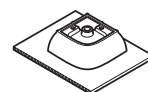


- 7 仮置きし、
調整する**

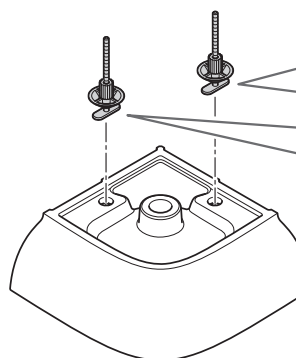
※右勝手の場合は左右反転

2 手洗器の組み立て

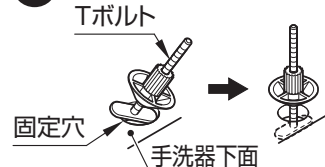
手洗器上面を下側にする際は、
段ボールなどを敷く
手洗器に傷が付かないように
してください。



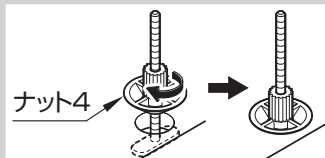
- 1 手洗器を裏返す**



- 2 固定穴に差し込む
Tボルト**



- 3 手締めで 仮固定する**



・必ず、ナットが手洗器と接触する
まで締め込む
取り付ける際に、手洗器から外れて
しまうことがあります。
・必ず、Tボルトが傾いていない
ことを確認する
カウンター取付時にTボルトが
外れることがあります。

3 クッション材のはり付け

- 1 はり付け面の汚れ・ホコリなど十分にふき取る**

- 2 クッション材のはくり紙をはがしながら、
下記の位置にクッション材をはり付ける**

警告



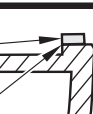
必ず守る

クッション材のはり付けは確実に行う
水などが浸入してコンセントにかかり、火災
や感電の原因となります。

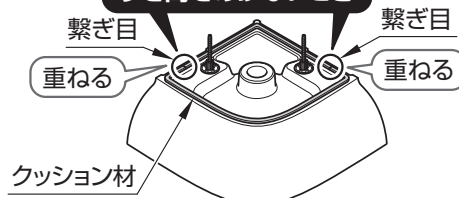
手洗器の内側コーナー部に
あわせてはり付ける
設置後にクッション材がはみ出す
ことがあります。

クッション材

内側コーナー部
にあわせる



すき間をあげないこと



4 パッキン(排水口)の取り付け

⚠ 注意



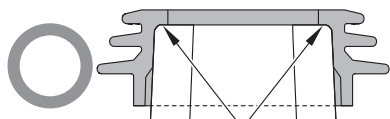
禁止

パッキン(排水口)にグリスを使用しない
劣化し水漏れして家財などをぬらす財産損害
発生の原因となります。

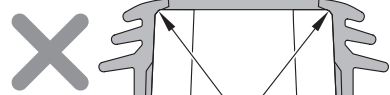


必ず守る

パッキン(排水口)は手洗器排水口に
密着するまで押し込む
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生
の原因となります。

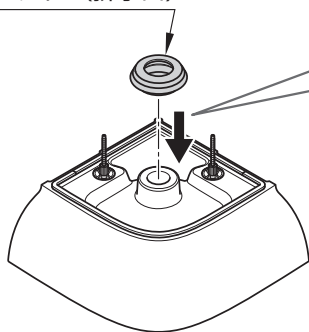


密着するまで押し込む



差し込みすぎ

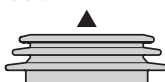
パッキン(排水口)



① 手洗器排水口外周の
汚れを取り除き、
装着する

取付方向に注意

排水ソケット側



手洗器排水口装着側

5 スパウトの取り付け

⚠ 注意



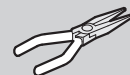
必ず守る

給水ホースはスパウトの根元までしっかり
差し込む
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生
の原因となります。

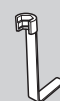
給水ホースセット

スパウト
固定用
ナット

③ ラジオペンチ



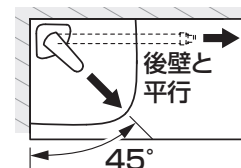
② ナット締付工具
(別売品)



パッキン
(スパウト用)



① 取付向きに注意する



後壁と
平行

45°

6 接続管組品の取り付け

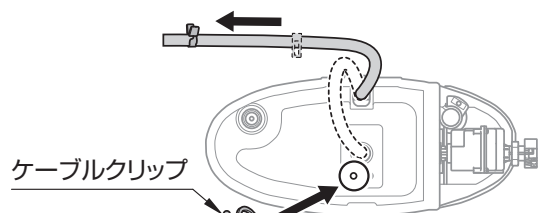
⚠ 注意



必ず守る

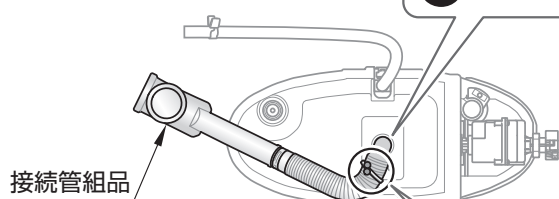
ケーブルクリップを必ず付ける
ジャバラホースが外れ、水漏れして家財などを
ぬらす財産損害発生の原因となります。

左勝手の場合



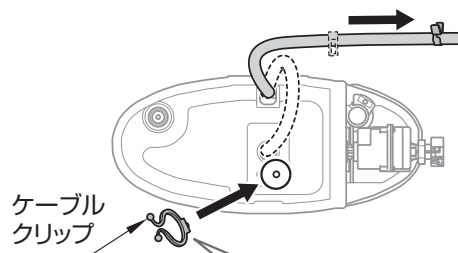
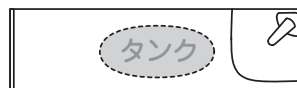
① ケーブルクリップ差込穴に差し込む

② 排水穴に挿入



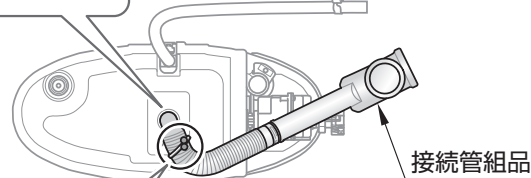
③ ねじって固定

右勝手の場合



① ケーブルクリップ差込穴に差し込む

② 排水穴に挿入



③ ねじって固定

左勝手/右勝手 共通

⑥ 給水ホースを
コアキャビネットの
外へ出す

④ 調整する

流動方式の場合

⑤ 排水管カバーをはめる

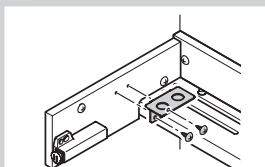
逆勾配防止

7 手洗器の取り付け

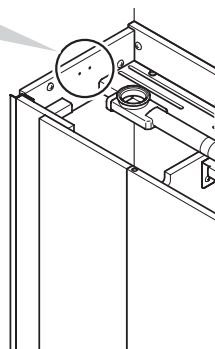
1 手締めで



トラスタッピンねじ
4×10(2本)



扉を取り外すと、施工が
しやすくなります



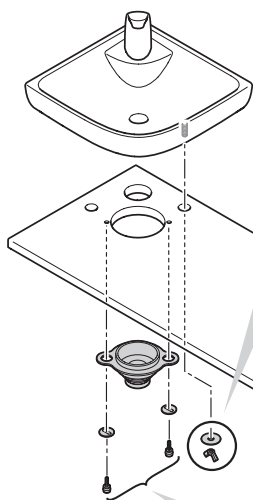
! 注意



水栓部分を持たない
給水金具が破損して水漏れし、財産損害発生
の原因となります。



必ず守る
パッキン(排水口)がセットされていることを確認する
水漏れして建物や設備などをぬらす財産損害
発生の原因となります。



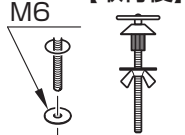
2 手締めで



仮固定

手洗器手前側
は10で固定

平座金【取付後】
M6

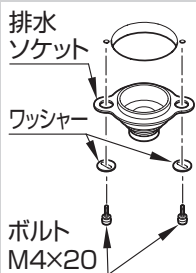


ちょう
ナット4

3 手締めで



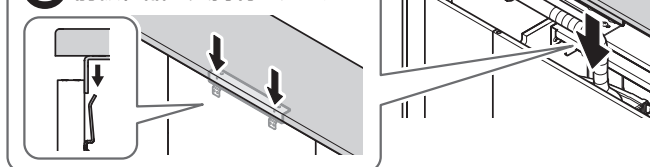
仮固定



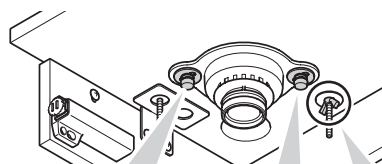
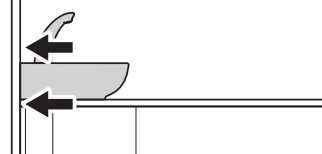
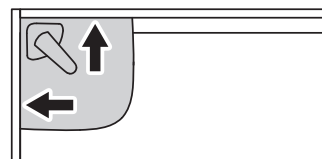
5 手洗器を押し 当てる

4 手前の穴にボルトを通す

6 前板組品に支持材を差し込む



7 手洗器を横壁と後ろ壁に押し当て、位置調整する



8 手締めで



本固定する

ソケットが天板に固定されていることを確認する

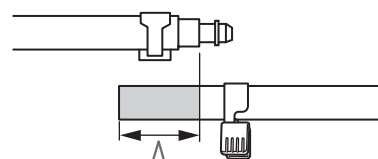
8 給水・排水部材の取り付け

! 注意



必ず守る

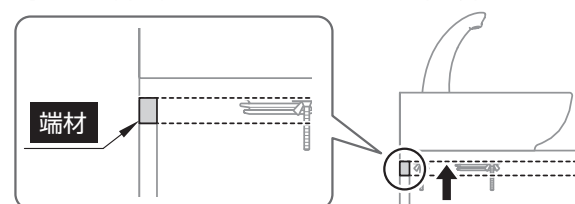
・切断面が垂直になるようにカットする
・接続後、確実に固定されていることを確認する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生
の原因となります。

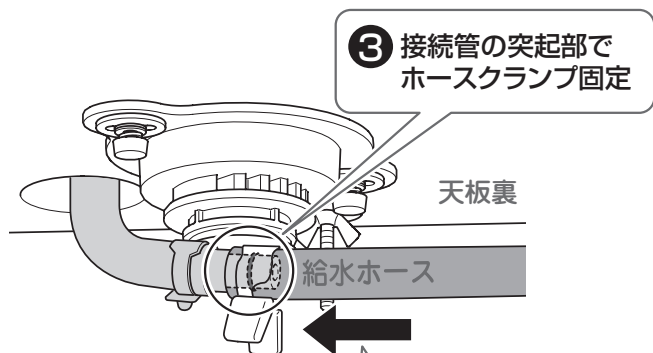


1 適切な長さにカット

施工がしづらい場合

・天板の端材を加工して天板の間に挟むように仮置きして
ください
・手洗器を側板組品に固定する前に端材を取り外してください





2 奥まで差し込み、給水ホースがたるまないようにする



水抜方式の場合は必ず実施

タンクからの給水ホースが長い場合

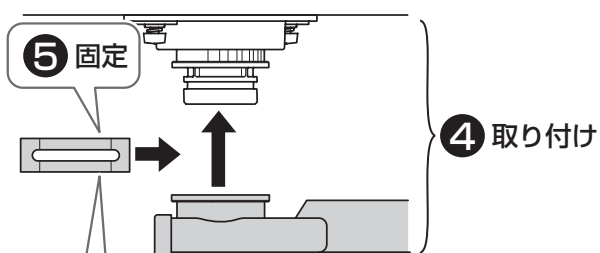
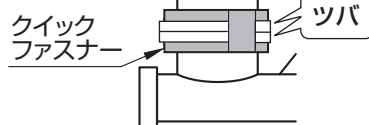
手洗器給水ホース接続部の接続代を確保してカットし、給水ホースがたるまないようにする

⚠ 注意



必ず守る

- ・クイックファスナーの全周にツバが掛かっていることを確認する
 - ・クイックファスナーがスムーズに1回転することを確認する
- 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



6 結束バンドを取り付ける

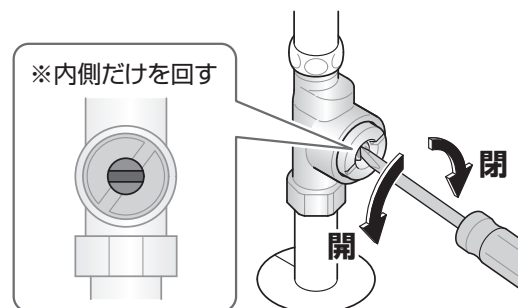


余りはカットしない

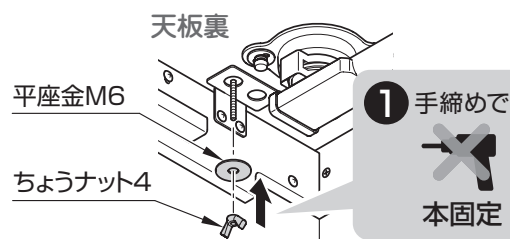
9 吐水の確認

手洗器ありの場合

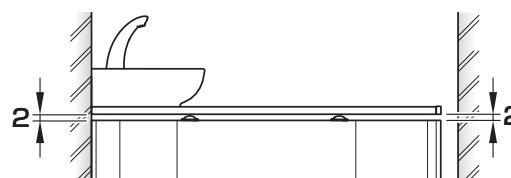
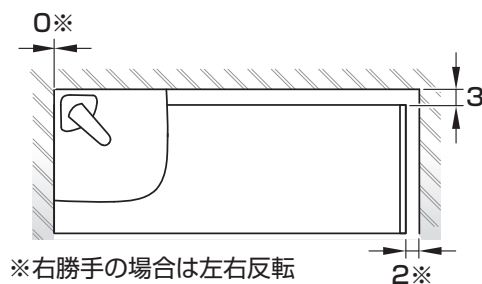
適切な流量になるまで、少しずつ止水栓を開ける
水の勢いが強い場合は、止水栓を回して流量を調整してください。



10 天板の取り付け

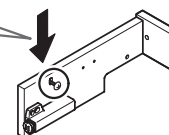


仕上げ状態 (目安)



天板と側板組品が当たり2mmにならない場合

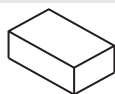
ねじをゆるめて
押し下げる



17. 天板（手洗器なし）

手洗器ありの場合は
P.84「18. 仕上げ」へ

使用部材



詰め合わせ箱

天板開閉部材セット※まるごと収納タイプの場合

スライド丁番セット

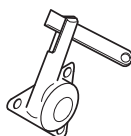


スライド丁番
(2個)



皿タッピンねじ
3.5×14(4本)

ダンパーセット



ダンパー 本体
(1個)



ダンパー 座金
(1個)



トラス小ねじ
M4×8(5本)



トラス小ねじ
M4×5(1本)

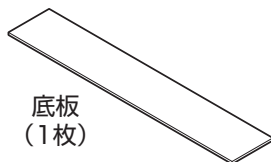


コアキャビネット

コアキャビネット

【まるごと収納タイプの場合】

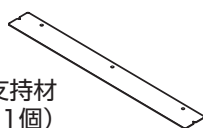
底板セット



底板
(1枚)



キャップ
(1個)



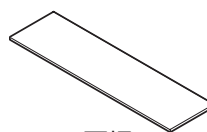
支持材
(1個)



トラスタッピンねじ
4×10(5本)

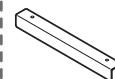
天板セット

支持材セット



天板
(1枚)

【スリム収納タイプの場合】



支持材
(1個)



トラスタッピンねじ
4×8(2本)

キャップセットL



キャップ(L)
(1個)



トラスタッピンねじ
4×8(2本)

キャップセットR



キャップ(R)
(1個)



トラスタッピンねじ
4×8(2本)

MEMO

まるごと収納タイプの場合

▶P.81

スリム収納タイプの場合

▶P.83

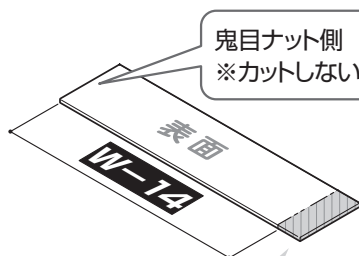
まるごと収納タイプ

1 天板の加工

1 測定

W寸法
※奥・手前の狭い方を
基準にする

【上面図】



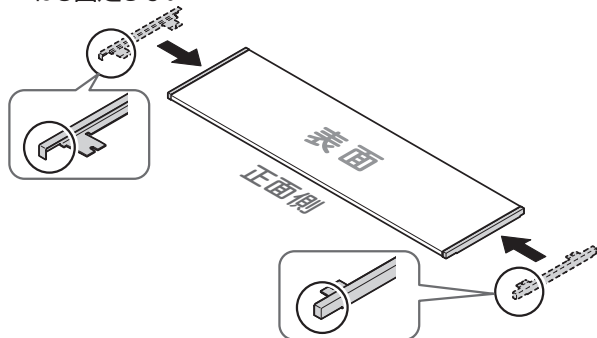
2 けがき → カット

チッピングに注意すること



3 取り付け

※ねじ固定しない

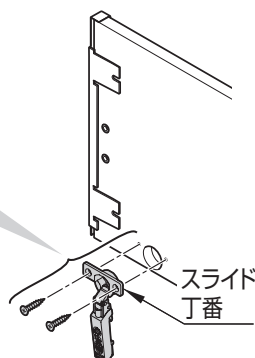


2 スライド丁番の取り付け

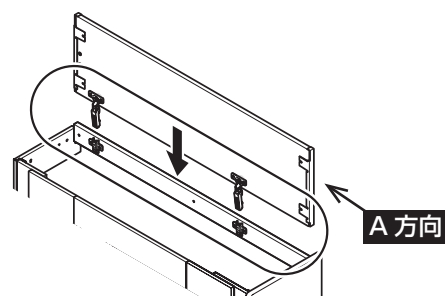
1 手締めで



皿タッピンねじ
3.5×14(左右各2本)

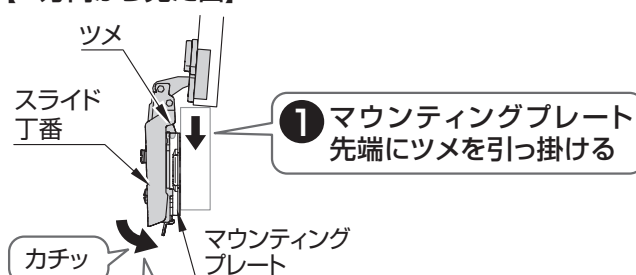


3 天板の取り付け



取り付けかた

【A方向から見た図】

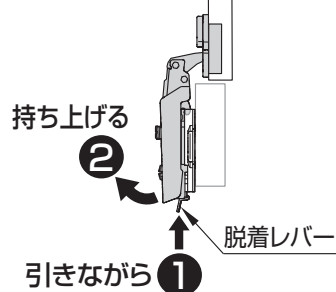


2 押し下げる

スライド丁番本体がきちんとマウンティングプレートに装着されているか確認する

取り外しかた

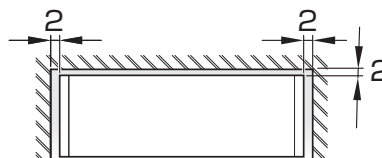
【A方向から見た図】



3 すき間を調整する

天板の両端が壁をこすらないこと

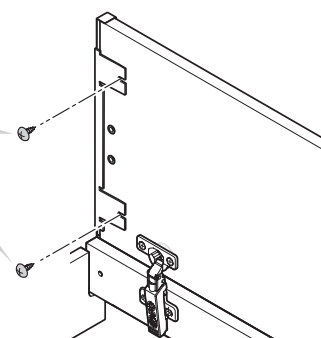
【上面図】



4 手締めで



トラスタッピンねじ
4×8(左右各2本)



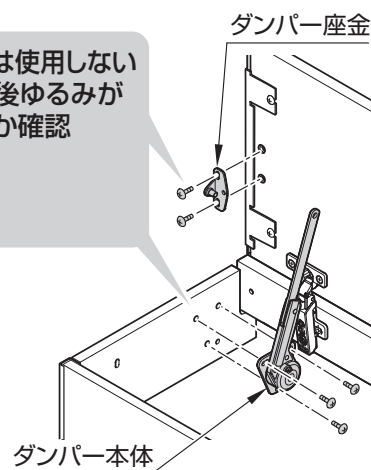
4 ダンパーの取り付け

1 手締めで



- ・丸穴は使用しない
- ・固定後ゆるみがないか確認

トラス小ねじ
M4×8 (5本)

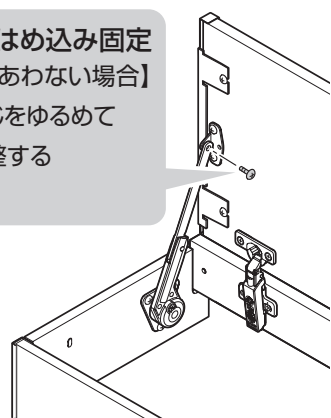


2 手締めで



- 軸に穴をはめ込み固定
【軸に穴があわない場合】
- ②のねじをゆるめて
位置を調整する

トラス小ねじ
M4×5 (1本)



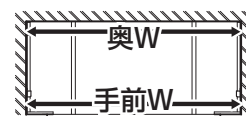
5 底板の加工

1 測定

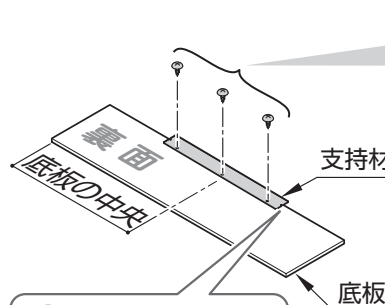
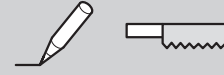


- W寸法
※奥・手前の狭い方を
基準にする

【上面図】



2 けがき → カット

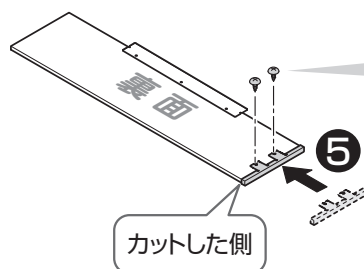
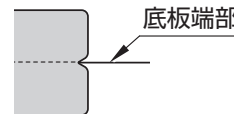


4 手締めで



トラスタッピンねじ
4×10 (3本)

3 底板前端にあわせる

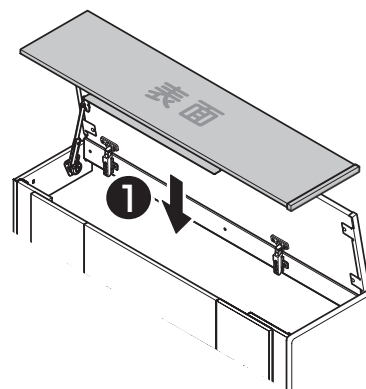


6 手締めで



トラスタッピンねじ
4×10 (2本)

6 底板の取り付け



➡ P.84 18.仕上げへ

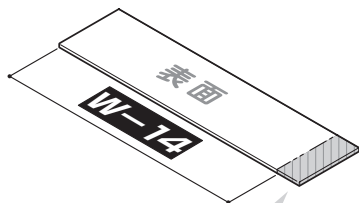
スリム収納タイプ

1 天板の加工

① 測定

W寸法
※奥・手前の狭い方を
基準にする

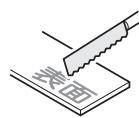
【上面図】



② けがき → カット



チッピングに注意すること



のこぎりの場合は
表面からカット



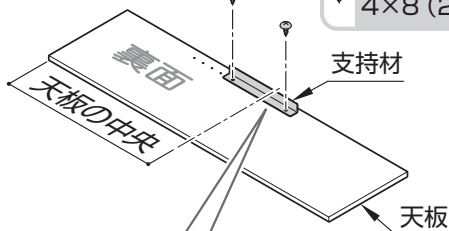
丸のこの場合は
裏面からカット

2 天板の組み立て

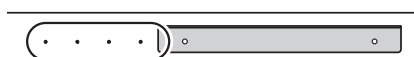
② 手締めで



トラスタッピンねじ
4×8 (2本)

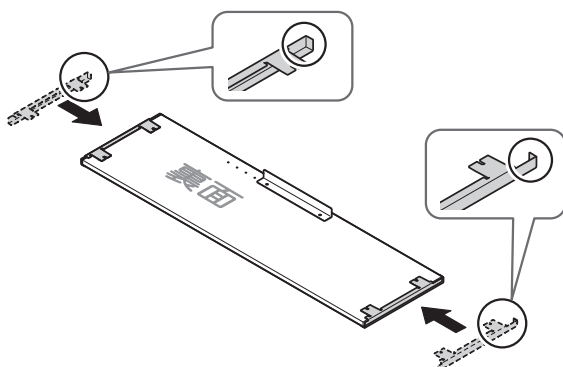


① 中心をあわせ近い位置の下穴にあわせる



③ 取り付け

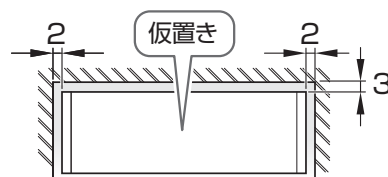
※ねじ固定しない



④ すき間を調整する

天板の両端が壁をこすらないこと

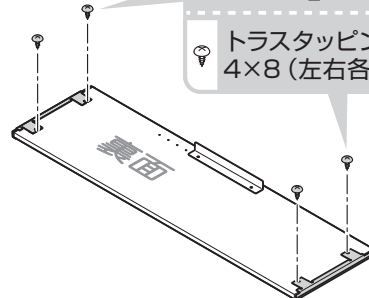
【上面図】



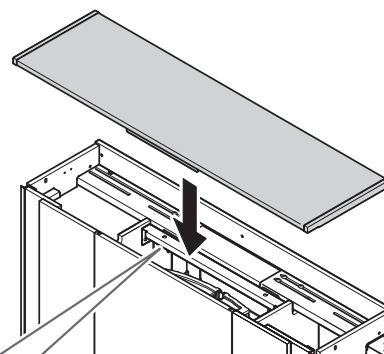
⑤ 手締めで



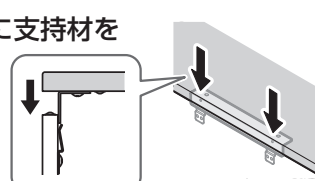
トラスタッピンねじ
4×8 (左右各2本)



3 天板の取り付け



① 前板組品に支持材を差し込む

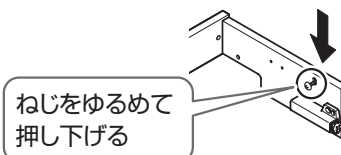


② すき間を調整する

【正面図】



天板と側板組品が当たり2mmにならない場合

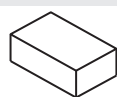


18. 仕上げ

扉の調整については下記URL内の「扉の調整」をご覧ください。
【URL】 https://jp.toto.com/support/repair/toilet/cabinet/rt_door05_mov/

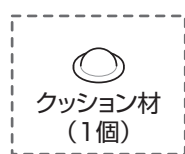


使用部材

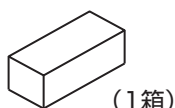


詰め合わせ箱

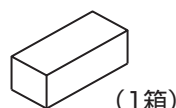
施工説明書



紙巻器（メタル製/樹脂製）

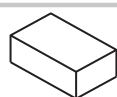
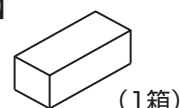


ハンドグリップ



タオル掛け

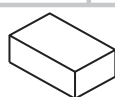
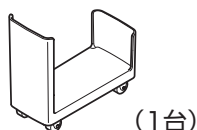
【壁取付タイプ】



コアキャビネット

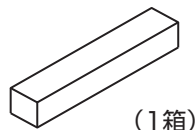
コアキャビネット

引き出しラック

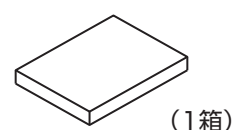


その他包装

木製手すり



化粧鏡



1 リモコン

- ① リモコンの取り付け **参照** ウォシュレット施工説明書
- ② リモコンの設定・作動確認 ▶ P.60 **7** へ

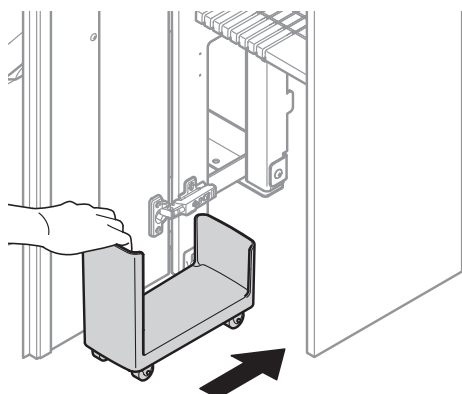
2 器具類の取り付け

【タオル掛け、化粧鏡、木製手すり、ハンドグリップを選択している場合】

参照 各商品に同封されている施工説明書

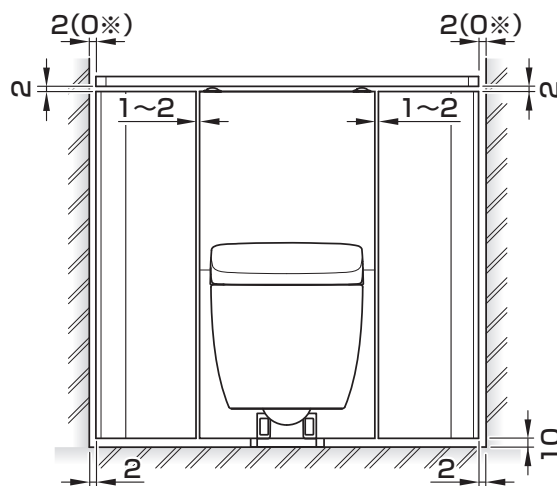
3 引き出しラック

大便器キャビネットの中に収納する



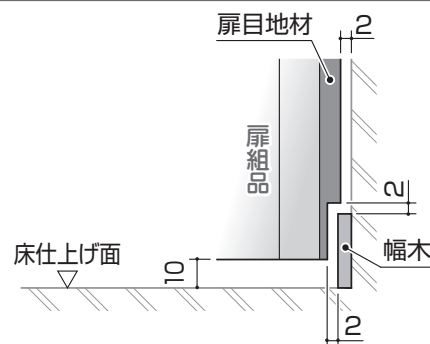
4 扉の本固定

仕上げ状態(目安)



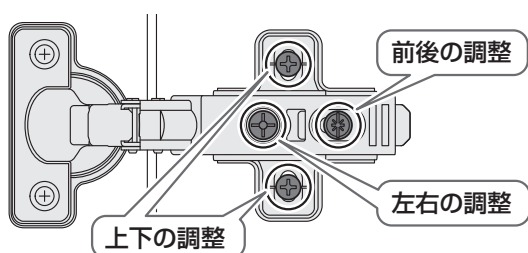
※手洗器ありの場合の手洗器側

幅木がある場合

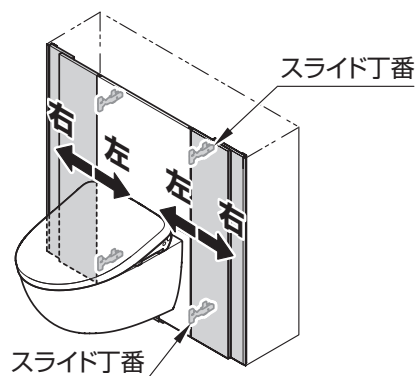


扉の調整

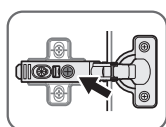
各ねじを調整することで扉を調整できます



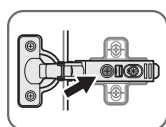
左右方向



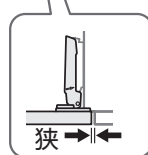
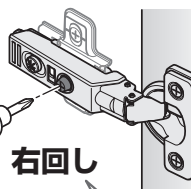
【左扉】



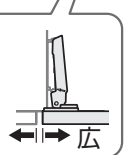
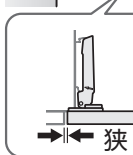
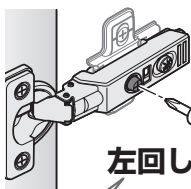
【右扉】



左回し
右回し



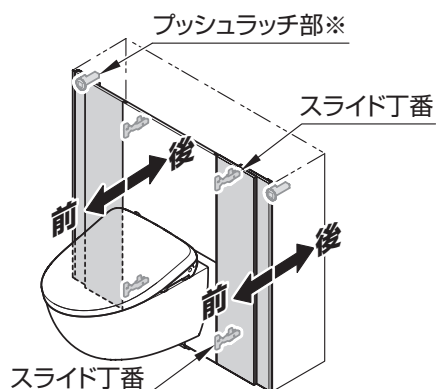
左回し
右回し



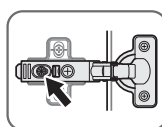
1 前後・上下方向の調整

ねじをゆるめ、扉を持って各方向にずらして位置を調整し、ねじを締めて固定してください。

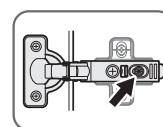
前後方向



【左扉】

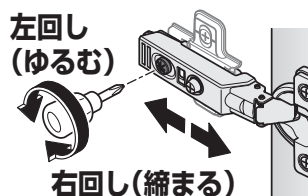


【右扉】



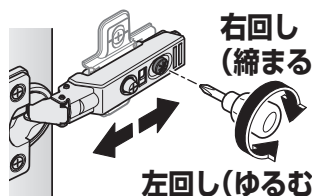
左回し
(ゆるむ)

右回し(締まる)



右回し
(締まる)

左回し(ゆるむ)

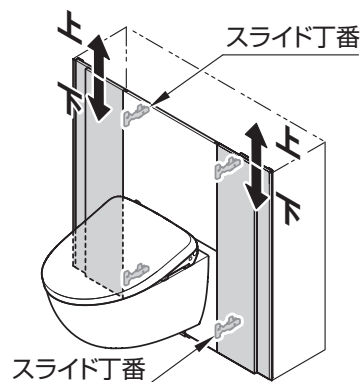


※プッシュラッチ部も
前後調整できます。

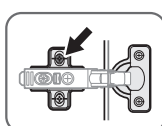


上下方向

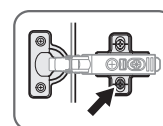
扉の上下調整は上下2つの丁番の移動方向にあわせること



【左扉】

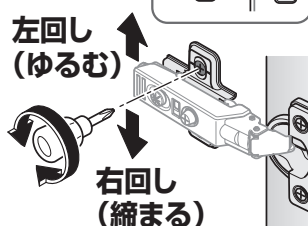


【右扉】



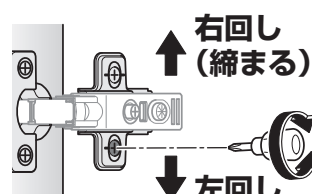
左回し
(ゆるむ)

右回し
(締まる)

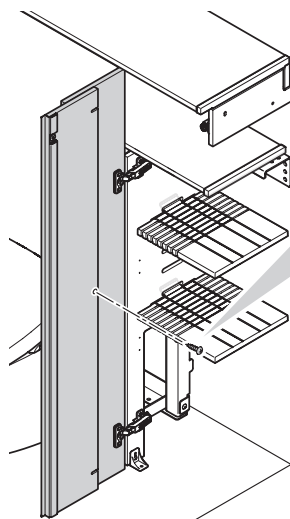


右回し
(締まる)

左回し
(ゆるむ)



※扉の向きによって
調整ねじ位置が変わります。



② 手締めで



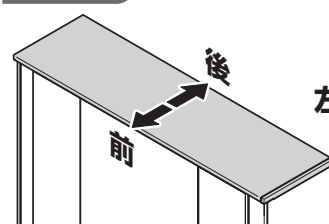
トラスタッピンねじ
4×20(1本)

MEMO

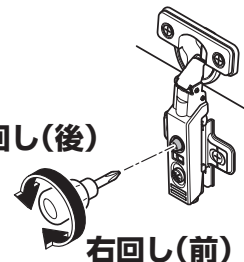
5 天板の調整

天板の調整

前後方向



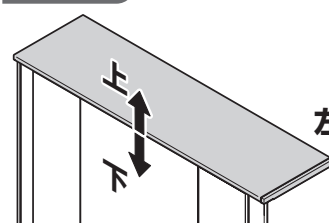
左回し(後)



右回し(前)

上下・左右はねじをゆるめ、天板を持って各方向にずらして位置を調整し、ねじを締めて固定してください。

上下方向

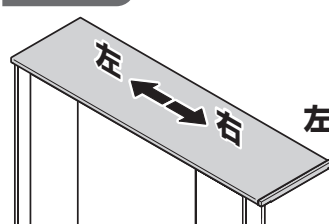


左回し(ゆるむ)

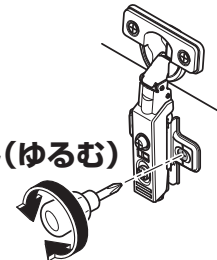


右回し
(締まる)

左右方向



左回し(ゆるむ)



右回し(締まる)

閉まり速度調整

⚠ 注意



禁止

調整時に弱めすぎない
天板が速く閉まり、けがの原因となります。

分解、改造をしない
器具が破損し、けがの原因となります。

① ゆるみがある場合、増し締めしてしっかり固定する

※速度調節部は、限度以上に回さないでください。

※温度によりダンパーの作用速度が変わることがありますが、故障ではありません。

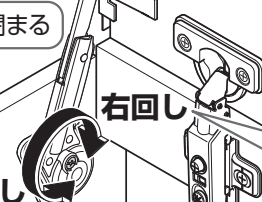
速く閉まる



右回し

ゆっくり閉まる

左回し



6 クッション材のはり付け

【天板・便ふたを開けたとき、壁などに当たる場合】

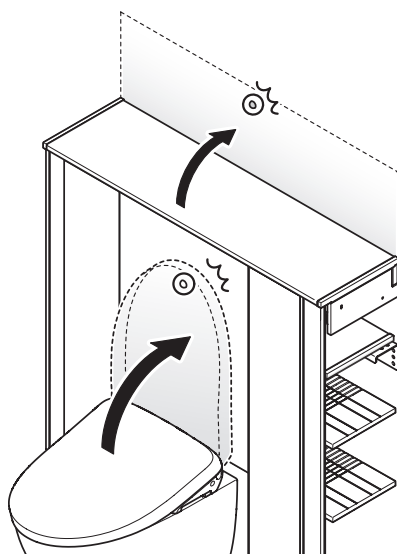
クッション材



① クッション材をはり付ける 「施工説明書」 「ウォシュレット」同梱

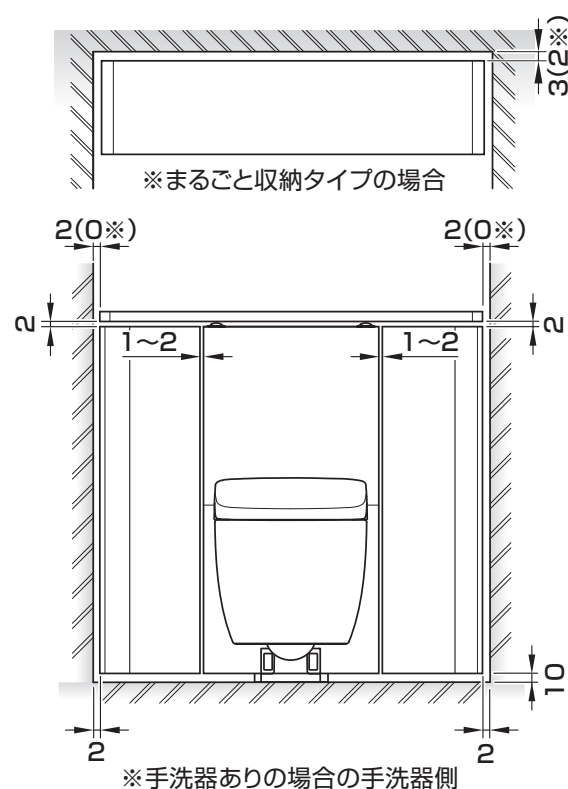
	天板上面	便ふた
まるごと収納タイプ	○	○
収納タイプ	-	○
スリム収納タイプ	-	○

※はり付け面を水ぶきし、乾燥後はり付けてください。
※お使いにならない場合は、取扱説明書と一緒に
お客様に渡してください。



7 仕上げ状態の確認

仕上げ状態（目安）



幅木がある場合

